

ズームアップ



み 春の子ども読書推進事業『本から聞こえるメロディ』 みんなで音を感じたよ

6月1日、春の子ども読書推進事業『本から聞こえるメロディ』が情報館で行われ、音やメロディなどをテーマにしたクイズやおはなし会、工作会に多くの子ども達が参加しました。

おはなし会では、絵本や紙しばいを職員が歌や楽器を使いながら読み聞かせをし、子どもたちも一緒に口ずさんでいました。工作会では、紙コップと糸を使った『ほえるかいじゅう』を作り、色マジックや折り紙を使って思い思いの作品を作りました。

ア アサリ掘り体験 サリをいっぱい取りました

6月2日、厚岸漁業協同組合と厚岸観光協会による、厚岸湖のアサリ漁場を一部開放した『アサリ掘り体験』が行われ、195人が参加しました。

参加者は、服が汚れるのをものともせず、夢中でアサリを掘り続け、容器いっぱいのアサリを持ち帰りました。

漁場には、アサリのほかにカニも生息しており、「カニ！カニだ！」といった子どもの歓声も聞こえ、参加者は、厚岸の自然とふれあい、海の恵みを満喫していました。



笑 長期乗船実習で漁獲したマグロの販売会 顔で接客しました

6月9日、厚岸漁協直売店前駐車場において開催された厚岸漁協直売店19周年大感謝祭のイベントで、厚岸翔洋高等学校海洋資源科生産技術コースの3年生13人が長期乗船実習で漁獲したマグロの販売を行いました。

この販売会は初めての試みで、販売開始直後から多くの方が買い求めていました。また、厚岸味覚ターミナル・コンキリエでは、生徒が漁獲したマグロを使用した二色丼と冷製パスタが9日限定で提供されました。



コ 地域コミュニティカフェ開設 ーヒーを楽しみながら地域の人と交流

6月18日から21日までの4日間、厚岸町ボランティアセンター主催の『地域コミュニティカフェ』がオープンし、初日の18日は20代から80代までの約30人がカフェに訪れました。

このカフェは地域の人や子育て世代、認知症・障がい者の人やその家族など、さまざまな人がコーヒーやお茶を飲みながら交流する『みんなの居場所』として初めて開設され、今回は保健福祉総合センターあみか21のスペースを利用しました。今後も定期的に場所を変えながら開催する予定です。

